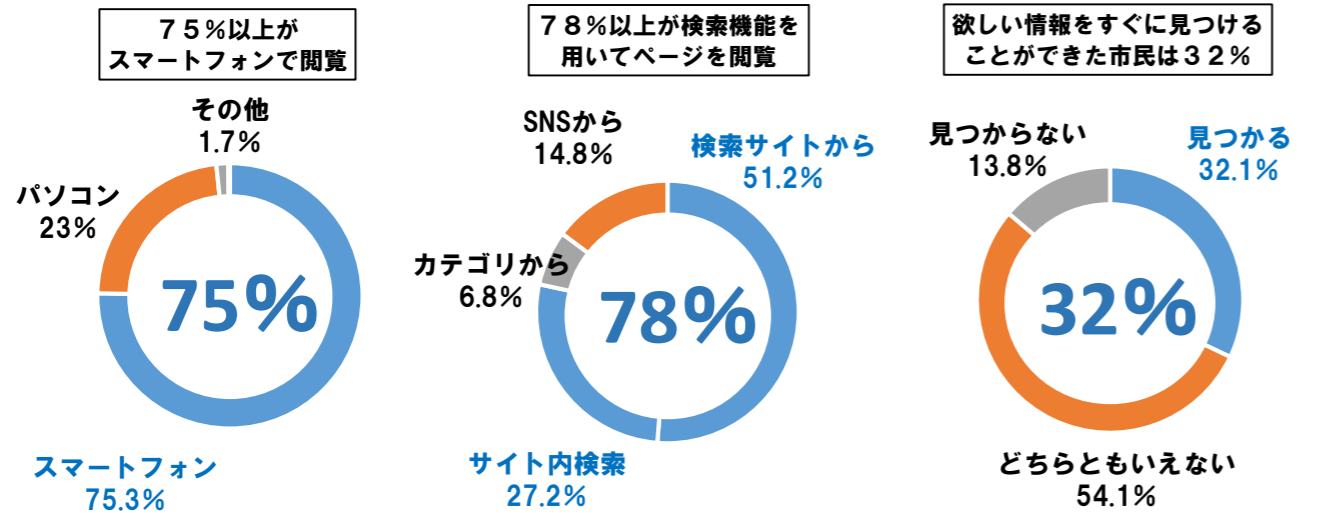


1 現状と問題

1 現状

インターネット利用率は8割を超え、情報収集に欠かせないツールとなるなか、ホームページは市内外に長崎の情報を効果的・効率的に発信する有効な手段になっている。

現在の公式ホームページは、前回のリニューアル（平成24年度）から10年以上が経過しており、ホームページへのアクセス数や、ホームページ内の情報量は当初に比べて増加するなど利用が進んでいる。一方、スマートフォン対応や検索機能などの利便性や操作性に係る機能が更新されていない。



（令和4年度市民・職員アンケートより）

2 問題

① スマートフォンでページが見にくい

スマートフォンの利用者が大多数を占める中、現状のサイトはスマートフォンに完全対応していないため、一部のページにおいてデザインやレイアウトが崩れて表示される。また、現状のシステムはパソコンでの閲覧を重視したものとなっており、スマートフォンのプレビュー画面を表示することができない。

② 情報の階層が深い、分類が分かりにくい

現システムの導入時と比べ、情報量が増えており、サイトマップ（分類分けや階層）が複雑になっている。サイトマップが分かりにくいいため、利用者がホームページで必要な情報や取り組みなどが分かりにくいサイト構成となっている。

③ 検索しても欲しい情報が見つけにくい

検索機能を用いて情報を入手している市民が多いが、検索結果の中から素早く情報を探ることができない。検索したいキーワード（行政用語）を知らないと欲しい情報に辿りつけない。また、サイト内検索の対象データが限られている。

④ 長崎市の魅力が伝わりづらい

市民アンケートの結果から、一定の割合で、ホームページ上において市の魅力などをPRしてほしいといった回答がある。現在の長崎市のホームページでは、行政手続きの情報と魅力情報が混在しており、他都市にはない長崎市の魅力が伝わりづらい。

2 基本方針と期待する効果

3 目指すホームページ像

鎖国時代、海外と交易を行う唯一の公的な窓口として重要な役割を果たした長崎市。さまざまな交流を通じて、海外の最先端の技術や文化が長崎市から国内に伝わった。一方、日本の文化や情報も出島などを通じて、広く海外へ知られることになり、当時の長崎市は、日本で唯一の情報発信の拠点としての一面も持ち合わせていた。

デジタル化が進む今、情報は暮らしの中で重要な役割を担っており、長崎市でもホームページを通じて、市内、そして世界に積極的・効果的な発信が求められている。現代においても、長崎市が日本でもトップレベルの情報発信力を備えたまちとなるように取り組みたい。

今回のリニューアルにあたっては、そういった長崎市特有のDNAを意識し、新技術や良質なサービス、デザイン性を備えたホームページを実現することで、長崎市の情報を受け取る人にとって、無くてはならない、唯一無二のコミュニケーションツールとなることを目指す。

4 基本方針

① ユーザビリティにこだわる

市内外の皆さん、幅広い年代の皆さん、視覚や聴覚に障害があるかた、外国人などホームページを閲覧する人およびホームページの作成を行う職員など、ホームページに関わるすべての人の利用しやすさを考慮したホームページにする。

② 長崎ファンを増やす

長崎市のさまざまな魅力やまちの概要、特徴や取り組みなどを集約して紹介するコンテンツを設けることで、市内外の皆さんに長崎市に対する興味や関心、愛着を深めてもらう。

5 期待する効果

<p>スマートフォンで見やすく使いやすい</p> <p>スマートフォンを始め、他の媒体でも、デザインを自動で切り替えたり、スマートフォンでの操作ミスを防ぐため、行間を広げたりする。</p> <p>利用者にとってホームページが使いやすく、見やすくなり、操作性や視認性が高まる。</p>	<p>分かりやすく情報が整理されている</p> <p>サイトマップを新たに見直すことで、利用者がホームページでの体系や構成などをイメージしながら、迷うことなく情報にアクセスできる。</p> <p>利用者にとって必要な情報や市の取り組みなどが伝わりやすくなる。</p>	<p>欲しい・必要な情報を簡単に探せる</p> <p>検索結果を分野や更新日時、アクセス数などで絞り込んで検索する仕組みや、検索のキーワードを入力する際に関連する語句を自動的に表示するような補助機能を設ける。</p> <p>利用者が知りたい情報が探しやすい、利便性や効率性が高まる。</p>	<p>長崎市の魅力情報が効果的に伝わる</p> <p>長崎市の魅力を知りたい市民や市外の人に向け、まちの魅力を包括的に紹介するトップページを新たに設ける。詳細情報に関しては、それぞれの個別ページと連動させる。</p> <p>長崎市に対する市民や市外の人々の興味関心が高まる。</p>
--	--	--	--

利用者にとってホームページが使いやすくなり（ユーザビリティの向上）、長崎市の魅力や取り組み、お知らせ等が効果的に伝わる（長崎ファンの増加）

多くの人を惹きつける長崎市の魅力や市の取り組み、お知らせ等がホームページを通じて、市内外に効果的に伝わっていくことで多くの効果を生み出すことを期待する。

市民との信頼関係の構築

シビックプライドの醸成

交流人口・関係人口（応援団）の増加